

# 県内経済の動き

## 概況

〔6月～8月の動き〕

### 緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（6月）は前月比低下、通関輸出額（7月 細島港）は5カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（7月 全店ベース）は8カ月連続で前年同月比減少し、「軽」を含む乗用車の販売台数（8月）、新設住宅着工戸数（7月）は共に2カ月連続で増加した。公共工事（7月 保証対象請負総額）は3カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（7月：1.54倍）は前月比0.01ポイント上昇した。8月の企業倒産は、前月比4件増の7件となり、負債総額も同71億31百万円増加した。

県内経済は、個人消費の一部に弱さがみられるものの、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いている。